

【令和8年】

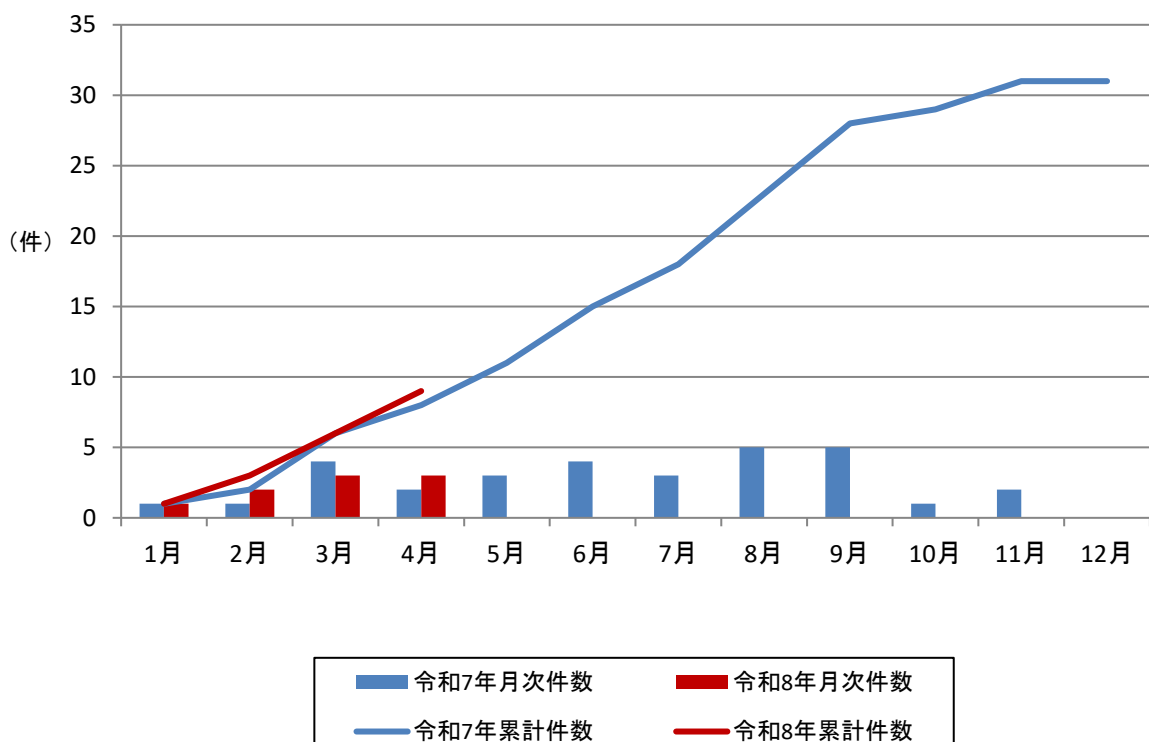
■管内における事故発生状況(4月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
 ※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○高圧ガス保安法(高圧ガス保安法事故措置マニュアル)関連

事故の種別		令和8年4月分				前月件数	前年同月件数	令和8年累計				令和7年累計			
		件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
			死	重	軽								件数	死	重
災害	爆発					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	火災					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	噴出・漏えい	3				3	2	9	0	0	0	29	0	1	1
	破裂・破損等					0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		3	0	0	0	3	2	9	0	0	0	31	0	2	1
容器の喪失又は盗難						4	0	4	0	0	0	2	0	0	0
危険な状態						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報告総計		3	0	0	0	7	2	13	0	0	0	33	0	2	1

高圧ガス事故発生件数(容器の紛失又は盗難を除く)



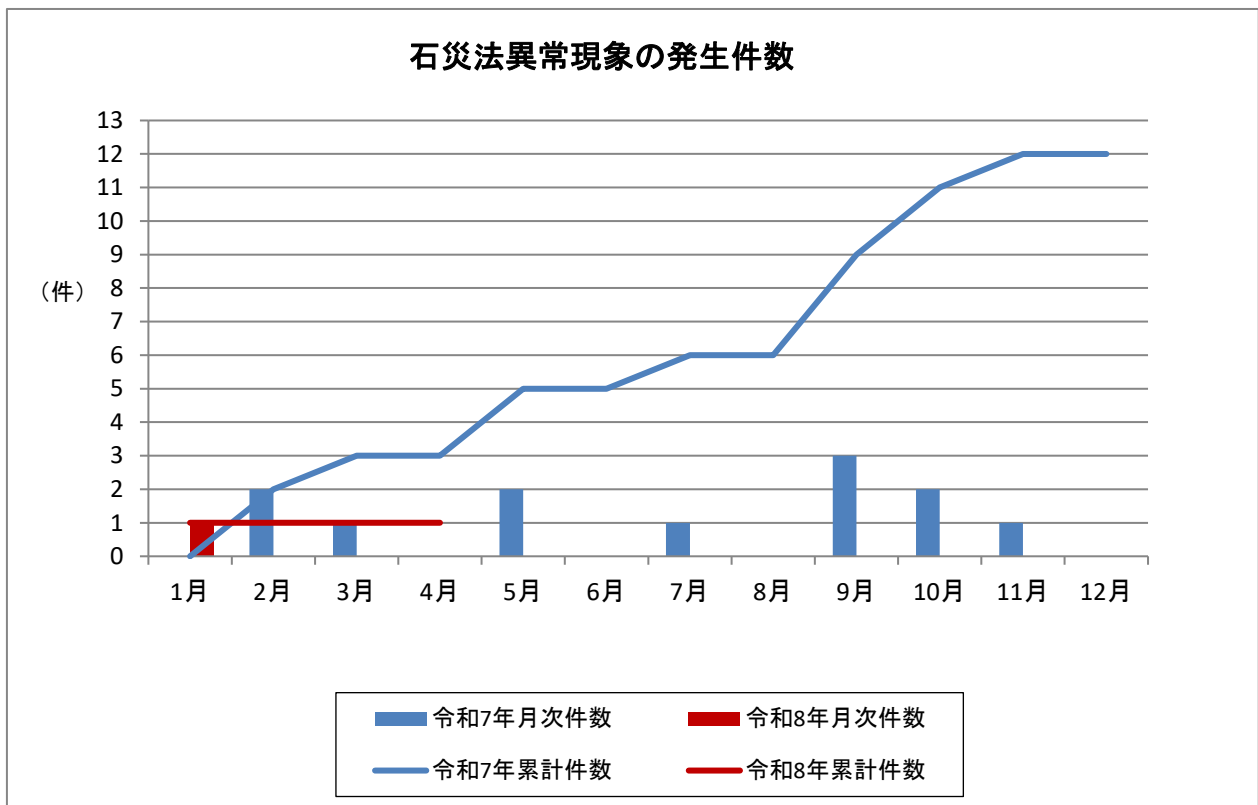
【令和8年】

■管内における事故発生状況(4月速報値)

※ 数値は事故速報ベースであり、各月のデータ積み上げが年累計と異なる場合があります。
 ※ 当該年の累計は1月から当該月まで、前年の累計は1月から12月までの計を示します。

○石油コンビナート等災害防止法(第23条第1項の異常現象)関連

異常現象の種別	令和8年4月分				前月件数	前年同月件数	令和8年累計				令和7年累計			
	件数	死傷者数					件数	死	重	軽	件数	死傷者数		
		死	重	軽								死	重	軽
出火					0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
石油等の漏洩					0	0	1	0	0	0	7	0	0	0
その他					0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	12	0	1	0



◆令和8年(2026年)の事故概要

○高圧ガス保安法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2026年4月16日	秋田県	製造業	漏えい	工場で冷凍設備運転中に、「冷媒圧力低下異常」が発生し、空気熱交換器付近からオイル漏れが確認されたため、冷媒ガスを回収後、窒素ガスで冷媒サイクル内を加圧の上、点検したところ、空気熱交換器の溶接継手部分からガス漏れ反応が確認された。原因は溶接の不備と推定される。	なし
2026年4月16日	宮城県	製造業	漏えい	製油所の集中合理化装置群及び重油間接脱硫装置群の常圧蒸留装置のスタビライザー塔頂エアフィンクーラーのショルダープラグ部からLPガスが漏えいした。原因は装置運転開始後の温度上昇により、ショルダープラグ部のガスケットのシール性能が低下したことと、それに対応するため、増し締めしたことによりネジ山の先端が潰れ、ガスケットの面圧が低下し漏えいに至ったと推定される。	なし
2026年4月15日	青森県	製造業	漏えい	冷却器の新設工事中、冷却器を設置するため、閉止弁の配管末端部分の溶接キャップを外すため、切り込み作業を始めたところ、切り込み部からアンモニアガスが漏えいした。原因は閉止弁が緩んでいたことから配管内にアンモニアガスが漏えいしていたもの。	なし
2026年3月31日	宮城県	製造業	漏えい	製油所の集中合理化装置群及び重油間接脱硫装置群の常圧蒸留装置のスタビライザー塔頂エアフィンクーラーのチューブ接続部からLPガスが漏えいした。原因はチューブ内面に発生した腐食による開孔のため。	なし
2026年3月5日	福島県	販売事業者	噴出・漏えい	事業場内に設置された、バルク貯槽近傍で作業をしていた者がガス臭を感じたことから、バルクの管理・点検業者に連絡。連絡を受けた管理・点検業者がバルク貯槽を点検したところ、バルク貯槽に設置されたプロテクター内の強制気化器サーモバルブからLPガスの漏えいを確認した。原因は強制気化器サーモバルブのOリングの劣化により、LPガスが漏えいしたもの。	なし
2026年3月2日	宮城県	消費者	漏えい	液化アンモニアポンペを温水ジャケットで加温する際、設定温度を本来の40℃ではなく90℃に誤設定したため、ポンペ内圧が過剰に上昇し、安全弁が作動してアンモニアが漏えいした。	なし
2026年2月3日	宮城県	販売事業者	漏えい	事業場内でガス臭がする旨連絡があり、連絡を受けたLPガス販売所担当者が現地で確認したところ、LPガス容器4本が空の状態であった。供給設備を確認したが漏えい箇所は認められず、漏えい原因は不明。	なし
2026年2月3日	宮城県	製造業	漏えい	ガス容器9本を積載して走行していた3トントラックと普通自動車の交通事故によりトラックが横転し、固定ベルトが外れ何らかの衝撃により容器内に圧力変化が生じた液化窒素容器1本の安全弁から窒素ガスが漏えいした。	なし
2026年1月28日	福島県	製造業	漏えい	事業所内で作業員から硫黄臭がするとの指摘があり、検知器等で測定したが検知されなかったため、施設を停止して設備の点検を行ったところ、硫化水素蒸留塔の揺れ止めを接続する部分の補強材と蒸留塔本体の溶接部のエア抜き口より硫化水素が漏えいした。	なし

◆令和8年(2026年)の事故概要

○石油コンビナート等災害防止法

発生年月日	場所 (県名)	事業者区分	事故の 種類	事故の概要	被害状況
2026年1月21日	宮城県	製造業	漏えい	製油所の集中合理化装置群の灯油脱硫装置において硫化水素を含む油及び硫化水素を含むガスが漏えい。原因は装置上流での運転変動により、硫化水素が除去されていない油が下流に供給されたこと。また、ハイドレート生成による配管の閉塞を避けるために蒸気を過剰に投入したことから今回の事象に至った。	なし